

2015年度心理臨床センター活動報告

1. 開室状況

開室日数は273日（月平均22.8日）、勤務のべ人数は1273人（月平均106.1人）だった。

2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1のとおりだった。

Table 1 電話対応の内訳

月	新規 申込	継続 予約	中止・ 変更	その 他	合計
4月	3	13	17	4	37
5月	14	17	18	12	61
6月	3	11	13	2	29
7月	7	6	20	11	44
8月	2	7	12	9	30
9月	4	6	15	11	36
10月	52	22	22	13	109
11月	5	15	18	12	50
12月	4	11	17	13	45
1月	0	13	17	10	40
2月	2	19	16	10	47
3月	2	10	28	4	44
合計	98	150	213	111	572
月平均	8.2	12.5	17.8	9.3	47.7

3. 相談件数

年間の相談受理件数は173件だった。年間のべ1069件の相談（月平均89.1件）を受理した。各月における面接形態の内訳は Table 2のとおりだった。なお、2015年度に実施した心理検査は Table 3のとおりだった。

Table 2 相談の内訳

月	初回 面接	心理 相談	並行 面接	心理 査定	その 他	合計
4月	10	59	2	0	1	72
5月	8	63	1	0	0	72
6月	18	77	2	0	1	98
7月	6	76	0	0	0	82
8月	8	59	0	1	0	68
9月	4	48	1	3	0	56
10月	19	51	1	3	0	74
11月	23	54	1	4	0	82
12月	19	74	1	2	1	97
1月	7	99	0	17	0	123
2月	5	94	1	18	0	118
3月	5	120	1	1	0	127
合計	132	874	11	49	3	1069
月平均	11.0	72.8	0.9	4.1	0.3	89.1

Table 3 2015年度に実施した心理検査

	検査名	実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	191
AAQ-W:	Acceptance and Action Questionnaire for Weight-Related	8
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	102
AQ:	Autism-Spectrum Quotient	1
ASAP:	Autism Social Skills Assessment for Parents	1
BDI-II:	The Beck Depression Inventory-II	146
BES:	Binge Eating Scale	12
CAARS:	Conner's Adult ADHD Rating Scale	1
CCES:	Children's Cognitive Error Scale	100
CDI:	Children's Depression Inventory	99
CES-D:	The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale	23
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	115
CISS:	Coping Inventory for Stressful Situations	3
CONNERS3日本語版		2
CPAQ:	Chronic Pain Acceptance Questionnaire	1
DEBQ:	Dutch Eating Behavior Questionnaire	3
DSRS:	Depression Self-Rating Scale for Children	98
EDI-91:	Eating Disorder Inventory	14
FFMQ:	The Five Facet Mindfulness Questionnaire	33
FIT:	家族イメージ法	4
GDS:	Geriatric Depression Scale	25
GHQ30:	The General Health Questionnaire	22
HADS:	Hospital Anxiety and Depression Scale	39
慈愛尺度:	The Japanese version of the Self Compassion Scale	5
自意識尺度:	Self-Consciousness Scale	1
自己志向的完全主義尺度		4
こころの硬さ尺度		1
LOI:	Leyton Obsessional Inventory	1
LSAS-J:	Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版	3
M.I.N.I.:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	8
MMSE:	Mini Mental State Examination	8
Mind over Mood	Anxiety Inventory	6
Mind over Mood	Depression Inventory	2
MPQ:	McGill Pain Questionnaire	13
OQ-45.2:	Outcome Questionnaire	4
PARS:	Pervasive Developmental Disorders Autism Society Japan Rating Scale	6
PCS:	日本語版 Pain Catastrophizing Scale	46
PDAS:	Pain Disability Assessment Scale	39
PSWQ:	The Penn State Worry Questionnaire	1
PVQ-II:	Personal Values Questionnaire II	8
QOL26:	WHO QOL26	101
RDQ:	Roland-Morris Questionnaire	6
Rorschach Test		32
RRQ:	Rumination Reflection Questionnaire	49
RRS:	Ruminative Responses Scales	38
SADS:	Social Anxiety Disorder Scale	5
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	100
SCAS-P:	Parent Version of the Spence Children's Anxiety Scale	102
SCID:	Structured Clinical Interview for DSM-IV-TR AXIS I Disorders	1
SCRI-J:	日本語版セルフコンパッション反応尺度	10
SF-36v2:	MOS 36-Item Short-Form Health Survey	26
SRS:	Social Responsiveness Scale	4
STAI:	State-Trait Anxiety Inventory	126
TSFS:	Thought-Shape Fusion Scale	1
VQ:	Valuing Questionnaire	1
WAIS-III:	Wechsler Adult Intelligence Scale-III	2
WISC-IV:	Wechsler Intelligence Scale for Children-IV	5
Y-BOCS:	The Yale-Brown Obsessive Compulsive Scale	16
全検査合計		1824

4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1—3のとおりだった。

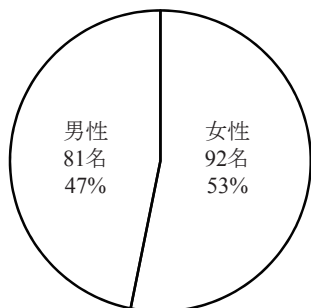


Figure 1 相談者の男女比

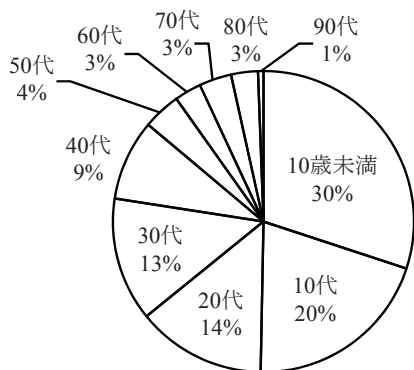


Figure 2 相談者の年齢層

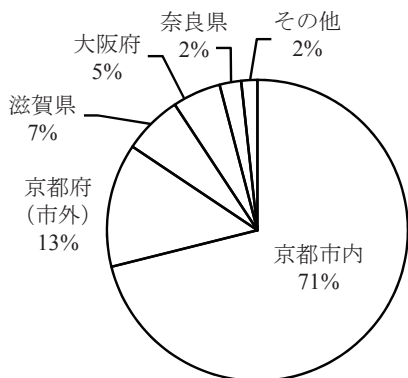


Figure 3 相談者の居住地域

5. 主訴内訳

主訴の内訳は Table 4のとおりだった。

Table 4 主訴の内訳 (件数)

子どもの発達・不安	82
うつ・不安	24
対人関係	12
家族関係	9
健康への不安	9
勤務問題	7
疼痛	6
摂食障害	4
介護	3
強迫性障害	2
その他	15
合計	173

6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯は Table 5のとおりだった。

Table 5 来談経緯 (件数)

新聞広告	49
学校より紹介	35
ホームページ	19
知人より紹介	14
病院より紹介	8
パンフレット	3
その他	50
合計	178

(複数回答)

7. 特別プログラム実施状況

2015年度には7つの特別プログラムが実施され (Table 6), 相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 6 2015年度実施特別プログラム

プログラム	面接数 ^{注1)}
子どもの不安改善プログラム: いっちゃんが教室	363
自閉症スペクトラム児の不安改善プログラム: てくてく教室	42
腰痛に対する ACT プログラム: 腰とも	42
反芻改善プログラム	37
喪失プログラム	24
むちゃ食い障害改善プログラム	12
脱ダイエットプログラム	7
合計	527

注1) 面接数は初回, 継続, 査定の合計を指す

8. 実習実績

博士課程前期課程9名の相談研修員が在籍し, 本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は377.5時間, 一人あたりの平均実習時間は41.9時間だった (スーパーバイズに必要な時間を含まない)。実習形態は Table 7のとおりだった。

Table 7 学内実習形態の内訳

面接担当 ^{注1)}	83.0
面接陪席 ^{注2)}	252.0
プレイ	17.0
検査	12.0
受付	4.5
その他	9.0
合計	377.5

注1) ケースでの主担当を指す

注2) 面接室での同席, あるいはカメラシステムを介した観察を指す

9. 広報活動

「英語による心理相談」チラシ設置 (京都府国際センター, 4月1日-3月31日)

「英語による心理相談」バナー広告掲載 (京都市国際交流協会ホームページ, 4月1日-6月30日)

「英語による心理相談」チラシ設置 (京都市国際交流協会, 4月23日-7月22日)

「ぐるぐる思考脱出プログラム」広告掲載 (京都リビング, 5月9日)

「子どもの不安改善プログラム: いっちゃんが教室」広告掲載 (京都リビング, 10月10日)

10. 心理臨床センター委員会

第1回

日時 2016年3月10日 (木)
15:40-15:55

場所 彰栄館2階 会議室

出席者 中谷内 一也 (センター長), 武藤 崇 (副センター長), 尾嶋 史章 (学生支援機構長), 真山 達志 (教育支援機構長), 中谷 隆志 (心理学部・心理学研究科事務室事務長, 以下事務長と記載)

11. 心理臨床センター運営委員会

第1回

日時 2015年4月15日 (水)
13:00-14:40

場所 継志館 心理臨床センター研修室

出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)

第2回

日時 2015年5月20日 (水)
13:00-13:40

場所 継志館 心理臨床センター研修室

2015年度心理臨床センター活動報告

- 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第3回
 日時 2015年6月3日 (水)
 13:00-15:00
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝
- 第4回
 日時 2015年6月17日 (水)
 13:00-13:45
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第5回
 日時 2015年7月1日 (水)
 13:00-14:00
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第6回
 日時 2015年7月15日 (水)
 13:00-14:20
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第7回
 日時 2015年10月21日 (水)
 13:00-14:05
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第8回
 日時 2015年11月11日 (水)
 13:00-14:40
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第9回
 日時 2015年12月2日 (水)
 13:00-14:30
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第10回
 日時 2015年12月16日 (水)
 13:00-13:50
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝, 中谷 隆志 (事務長)
- 第11回
 日時 2016年1月20日 (水)
 13:00-15:00
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤 豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井 美枝
- 第12回
 日時 2016年3月9日 (水)
 13:00-13:40
 場所 継志館 心理臨床センター研修室
 出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 佐藤

豪, 杉若 弘子, 菊田 和代, 酒井
美枝, 中谷 隆志 (事務長)

12. 研究活動

刊行物 (著書・論文等)

藤岡 勲 文化をふまえた子どもと若者のための
認知行動療法の実践 精神療法, 41,
221-222.

早樫 一男 日本のジェノグラム (8) 対人援
助学マガジン, No.21, 86-89.

早樫 一男 日本のジェノグラム (9) 対人援
助学マガジン, No.22, 83-86.

早樫 一男 日本のジェノグラム (10) 対人
援助学マガジン, No.23, 85-88.

早樫 一男 日本のジェノグラム (11) 対人
援助学マガジン, No.24, 103-105.

肥田 乃梨子・石川 信一 集団社会的スキル訓
練による中学生の被援助志向性への長期的
効果 同志社心理, 62, 8-17.

肥田 乃梨子・石川 信一・高田 みぎわ メン
タルヘルスリテラシーへの介入プログラムの
実践——中学校におけるパイロット・ス
タディ—— 心理臨床科学, 5, 35-45.

石川 信一 認知行動療法 稲垣 佳世子・河合
優年・斉藤 こずゑ・高橋 恵子・高橋 知
音・山 祐嗣 (編) 児童心理学の進歩——
2015年版—— pp.161-194, 金子書房.

Ishikawa, S. A cognitive-behavioral model
of anxiety disorders in children and
adolescents. *Japanese Psychological
Research*, 57, 180-193.

石川 信一 不安症のCBT 児童青年精神医学
とその近接領域, 57, 110-114.

石川 信一 不安の併存症のある自閉症スペク
トラム障害児の支援——アセスメントと認
知行動療法—— 臨床心理学, 16, 179-184

石川 信一・肥田 乃梨子・岸田 広平・上田 有
果里・中西 陽・金山 裕望 日本における
子どもの認知行動療法の学術活動の動向に
関する実証的検討——2004年世界認知行動

療法学会 (神戸) 開催の前後比較—— 認
知療法研究, 9, 34-43.

石川 信一・桐山 佳奈・吉満 紗貴 ASDの認
知行動療法に必要な工夫 児童青年精神医
学とその近接領域, 57, 137-144.

Ishikawa, S., Motoya, R., Sasagawa, S.,
Takahashi, T., Okajima, I., Takeishi,
Y., Essau, C. A. Mental health
problems among undergraduates in
Fukushima, Tokyo, and Kyoto after
the March 11 Tohoku Earthquake.
*Tohoku Journal of Experimental
Medicine*, 236, 115-122.

Ishikawa, S., Sasagawa, S., Chen, J., &
Essau, C. A. Prevention program for
depression among children and
adolescents in Japan: Challenges and
opportunities In R. H. Shute & P. T.
Slee (Eds.) *Mental health and
wellbeing through schools: The way
forward*. Routledge, pp.157-170.

石川 信一・佐藤 正二 (編) 臨床児童心理学
——実証に基づく子ども支援のあり方——
ミネルヴァ書房

伊藤 雅隆・武藤 崇 過敏性腸症候群に対する
認知・行動療法の展望 心理臨床科学, 5,
83-94.

金山 裕望・前田 由貴子・佐藤 寛 自閉症ス
ペクトラム指数 (Autism-Spectrum
Quotient) 日本語版の因子構造の検討
関西大学社会学部紀要, 47, 41-52.

河村 一海・佐藤 豪 若年発症1型糖尿病患者
の食行動心理の類型化とその特徴, 心身医
学, 55, 1242-1250.

菊田 和代 (訳) 第6章第2セッション: 内的
な障壁から価値に基づく行為へ解きほぐす
武藤 崇・土屋 雅雄・三田村 仰 (監訳)
マインドフルにいきいき働くためのトレー
ニングマニュアル——職場のためのACT
—— Flaxman, P. E., Bond, F. W., &
Libheim, F. *The mindful and effective*

- employee.*, Oakland, CA.
- 木村 穰・馬場 天信・佐藤 豪・斎藤 瞳 心身医学的チーム医療の実践——どう重症患者をチームの力で支えるか——肥満症——心身医学, 55, 1229-1233.
- 岸田 広平・石川 信一 中学生の抑うつ症状と不安症状に対する学級規模の集団社会的スキル訓練の有効性の検討 心理臨床科学, 5, 59-71.
- 久間 (糟谷) 寛子・藤岡 勲・隅谷 理子・福島 哲夫・岩壁 茂 セラピストによる肯定的発話の類型化 臨床心理学, 16, 90-98.
- 万福 尚紀・武藤 崇 糖尿病に対する心理療法——認知・行動療法 (CBT), 動機づけ面接 (MI), そしてマインドフルネス——心理臨床科学, 5, 95-106.
- 松原 耕平・佐藤 寛・石川 信一・高橋 高人・佐藤 正二 子どものためのユニバーサル予防プログラムの媒介変数の検討 認知療法研究, 8, 248-257.
- 望月 昭・武藤 崇 応用行動分析から対人援助学へ——その軌跡をめぐって——晃洋書房
- 武藤 崇 文脈的行動科学に基づく「アクセプトランス & コミットメント・セラピー (ACT)」に対する学習・実践・研究のすすめ方 臨床精神医学, 44, 1043-1049.
- 武藤 崇 行動分析学による問題解決②——青年・成人における問題解決ストラテジーを整理する——山本 淳一・武藤 崇・鎌倉 やよい (責任編集) ケースに学ぶ行動分析学による問題解決 pp.20-28.
- Muto, T., & Mitamura, T. Acceptance and Commitment Therapy for “Taro,” a Japanese client with chronic depression: A replicated treatment-evaluation. *Pragmatic Case Studies in Psychotherapy*, 11, 117-153.
- Muto, T. Acceptance and Commitment Therapy is “Haruki Murakami”. *Pragmatic Case Studies in Psychotherapy*, 11, 285-287.
- 武藤 崇 認知症高齢配偶者を介護する男性の介護負担感の軽減と生活の質の向上に対する ACT ——エビデンスに基づく心理学的実践—— 心理臨床科学, 5, 3-33.
- 中川 明仁・木村 穰・吉内 佐和子・宮内 拓史・松嶋 典子・馬場 天信・佐藤 豪 肥満治療へのチーム医療介入の意義およびフォーミュラ食使用者の心理的特徴 行動科学, 53, 165-172.
- 中西 陽・石川 信一 コミュニケーションに困難を示す軽度知的能力障害の小学生に対するゲームを中心とした社会的スキル訓練 心理臨床科学, 5, 47-57.
- 酒井 美枝・武藤 崇・大月 友 Creative Hopelessness において獲得されたルールが行動変容に及ぼす効果——動機づけオーギュメンタルの枠組みからの実験的研究—— 行動療法研究, 42, 51-62.
- 茂本 由紀・酒井 美枝 (訳) 第8章 ACT トレーナーの態度とスキル 武藤 崇・土屋 雅雄・三田村 仰 (監訳) マインドフルにいきいき働くためのトレーニングマニュアル——職場のための ACT—— Flaxman, P. E., Bond, F. W., & Libheim, F. *The mindful and effective employee.*, Oakland, CA.
- 杉若 弘子 特集 動物と暮らす 心理学ワールド, No.69, 4-20. (企画)
- 山本 淳一・武藤 崇・鎌倉 やよい ケースで学ぶ行動分析学による問題解決 (編著) 金剛出版

学会活動

- 荒井 穂菜美・青木 俊太郎・石川 信一・金澤 潤一郎・坂野 雄二 不安のコントロール感と社交不安症状の関係における安全確保行動の媒介効果 (日本認知・行動療法学会第41回大会, ポスター発表, 10月2日)
- 江上 奈美子・川崎 隆・古川 真由美・田中 崇恵・慶野 遥香・藤岡 勲・高野 明 学生

- 相談領域における効果測定への意識に関する探索的検討 (日本学生相談学会第33回大会, 口頭発表, 5月17日)
- 藤岡 勲 社会的 (宗教的/性的/人種的) マイノリティに関する研究の現状——異なる立場の共有からさらなる研究と支援の手がかりへ—— (日本心理学会第79回大会公募シンポジウム, 指定討論, 9月22日)
- 橋本 光平・肥田 乃梨子・中西 陽・上田 有果・里・伊藤 雅隆・杉若 弘子 “セラピスト”の自己開示がホームワーク遂行におよぼす影響——アナログ・セラピー場面を用いた実験的検討—— (日本認知・行動療法学会第41回大会, ポスター発表, 10月3日)
- 肥田 乃梨子・石川 信一 メンタルヘルスリテラシーの向上を目指した心理教育プログラム——心の不調を抱えながらも助けを求めない生徒の支援に向けて—— (日本認知・行動療法学会第41回大会, 10月2日)
- 肥田 乃梨子・田中 あゆみ・石川 信一 大学生の援助要請スタイルの違いがストレス反応および友人関係満足感に及ぼす影響 (日本教育心理学会第57回総会, ポスター発表, 8月27日)
- 堀江 幸代・興津 真理子 家族造形法を用いた事例検討会の効果 (2) ——家族理解と共感性の促進に関する検討—— (家族心理学会第32回大会発表, ポスター発表, 7月19日)
- 石川 信一 学校で活かす認知行動療法——学校の強みを活用した予防的取り組み—— (日本発達心理士会第11回全国大会 大会準備委員会企画シンポジウム, シンポジスト, 9月5日)
- Ishikawa, S. Informant discrepancies in childhood anxiety symptoms: Comparison between clinical and community sample (The 49th Convention of Behavioral and Cognitive Therapies, ポスター発表, 11月15日)
- 石川 信一 学校におけるメンタルヘルス予防を目指した認知行動療法 (第19回日本精神保健・予防学会学術集会, シンポジスト, 12月12日)
- 石川 信一 子どもの不安症に対する認知行動療法 (第8回日本不安症学会学術大会, 教育講演, 2月6日)
- Ishikawa, S., & Makiyama, S. The effect of social skills training on interpretation skills of adolescents.(10th International Conference on Child and Adolescent Psychopathology, 口頭発表, 7月22日)
- 上西 祐輝・佐藤 豪 レジリエンスはいかにして形成されるのか——家族関係からの検討—— (日本健康心理学会第28回大会 桜美林大学 神奈川県相模原市, ポスター発表, 9月5日)
- 金山 裕望・前田 由貴子・佐藤 寛・石川 信一 大学生における自閉症スペクトラム傾向の実態調査 (日本心理学会, ポスター発表, 9月22日)
- 金山 裕望・佐藤 寛・石川 信一 自閉スペクトラム症と併存症状——ネガティブ自動思考とマインドフルネスの関与についての検討—— (第12回日本うつ病学会・第15回日本認知療法学会会総会, ポスター発表, 7月17日)
- 金山 裕望・佐藤 寛・石川 信一 自閉スペクトラム症傾向と抑うつ——ネガティブな自動思考とマインドフルネスはいかに作用するのか—— (日本認知・行動療法学会第41回大会, ポスター発表, 10月2日)
- Kaneyama, Y., Sato, H., & Ishikawa, S. Effects of mindfulness and negative automatic thoughts on comorbid social anxiety and depression in college students with autism spectrum disorder symptoms (The 49th Convention of Behavioral and Cognitive Therapies, ポスター発表, 11月15日)

Katagami, E. Sugiwaka, H. & Tsuchiya, H.
An examination of injured athletes' self-efficacy in rehabilitation program: The effect of 'Rehabilitation diary.'
(International Society of Sport Psychology 50th Anniversary Seminar, Roma, Italy, ポスター発表, 4月20日).

岸田 広平・石川 信一 中学生における推論の誤りの因子構造に関する検討 (日本認知・行動療法学会第41回大会, 仙台国際センター・東北学院大学土樋キャンパス, ポスター発表, 10月2日)

Kishida, K. & Ishikawa, S. The cognitive errors in Japanese adolescents: Factor structure of cognitive errors scale for adolescents and relationship between cognitive errors and internalizing symptoms. Child & adolescents depression special interest group exposition. (The 49th Association for Behavioral and Cognitive Therapies, Chicago, ポスター発表, 11月)

岸田 広平・石川 信一 抑うつや不安の高い中学生に対する学校ベースの予防プログラムの有効性 (第8回日本不安症学会学術大会, 千葉大学亥鼻キャンパス, ポスター発表, 2月26日)

久間 (糟谷) 寛子・隅谷 理子・坂本 憲治・首藤 和佳子・吉武 美紀・今井 瑞七・大石 彩乃・野村 朋子・松下 弓月・長谷川 かさね・藤岡 勲 家族初回面接における家族内葛藤の表出プロセス (日本心理臨床学会第34回大会, 口頭発表, 9月18日)

万福 尚紀・武藤 崇 瞑想だけでマインドフルネスは般化するのか? — 日常場面での課題従事に影響を及ぼす MBSR の構成要素の検討 — (日本認知・行動療法学会第41回大会, 仙台, 10月)

武藤 崇 「二人称の科学」は成立するのか (日本心理学会第79回大会, 企画ワークショップ, 9月22日)

中西 陽・石川 信一 コミュニケーションに困難を示す軽度精神発達遅滞の小学生に対するゲームを中心とした社会的スキル訓練 (日本認知行動療法学会第41回大会, ポスター発表, 10月2日)

野中 俊介・岡島 純子・横山 典子・三宅 篤子・萩野 和男・原口 英之・山口 穂菜美・石飛 信・高橋 秀俊・石川 信一・神尾 陽子 自閉スペクトラム症を有する児童向けの認知行動療法的不安軽減プログラムの検討 (第8回日本不安症学会学術大会, ポスター発表, 2月26日)

興津 真理子 セラピストがジェンダーを意識する時 (日本心理臨床学会第34回大会 自主シンポジウム ジェンダーコンシャスなアプローチ (10) — 心理臨床家養成におけるジェンダーの視点 — (日本心理臨床学会第34回大会, 神戸国際会議場, 話題提供, 9月18日)

興津 真理子・堀江 幸代・早樫 一男 家族造形法を用いた事例検討の効果 (3) — IP への共感的理解の促進 — (家族心理学会第32回大会発表, ポスター発表, 7月19日)

大仲 陽子・佐藤 豪 3つの自己のズレと自尊心との関連 (関西心理学会第127回大会, 口頭発表, 11月8日)

Sakai, M. Acceptance and Commitment Therapy for chronic pain in an outpatient setting: A case study. (The Association for Behavior Analysis International Eighth International Conference, 口頭発表, 9月28日)

坂野 朝子・武藤 崇・福井 聖・岩下 成人・新田 一仁 心理的トリートメントにおける治療ターゲットは何か? — 心理的評価とチームによる援助の実際 — (日本ペインクリニック学会第49回大会, 口頭発表, グランフロント大阪, 7月25日)

坂野 朝子・武藤 崇・福井 聖・岩下 成人・新田 一仁・川崎 拓 慢性腰痛患者に対するグループ形式のアクセプタンス&コミット

メント・セラピー (ACT) (第8回日本運動器疼痛学会, 名古屋国際会議場, 口頭発表, 12月13日)

坂野 朝子・武藤 崇・酒井 美枝・井福 正貴
慢性腰痛により活動性と QOL が低下している女性に対するアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) の効果——事例研究—— (第41回日本認知・行動療法学会, 仙台国際センター, ポスター発表, 10月3日)

Shigemoto, Y., & Muto, T. Developing a new behavioral task for measuring defusion in depressed people: Comparing performance on the Kanji maze task and IRAP. (Annual World Conference 13th Association for Contextual Behavioral Science, Germany, ポスター発表, 7月18日)

茂本 由紀・武藤 崇 漢字迷路課題の妥当性の検討——言語刺激を使用した非柔軟性の測定—— (日本認知・行動療法学会, 第41回大会, 仙台国際センター, ポスター発表, 10月2日)

杉若 弘子 心理学を学び, 研究し, 実践する——ライフステージとキャリアパス——関西心理学会第127回大会シンポジウム, 話題提供, 11月8日)

高橋 恵子・佐藤 豪 ストレス反応に及ぼすマインドフルネスとエゴグラムの影響 (日本健康心理学会第28回大会, 桜美林大学 神奈川県相模原市, ポスター発表, 9月6日)

Tanaka, Y., Tanabe, Y., Maeda, S., Inoue, A., Sato, H., Ishikawa, S., & Shimada, H. The effect of the long-term camp program aimed at cultivating adaptive social behavior on the interpersonal self-efficacy, anxiety, and depression of school absentees. (The 5th Asian Cognitive Behavior Therapy (CBT) Conference, ポスター発表, 5月16日)

高橋 高人・中野 聡之・松原 耕平・石川 信二・佐藤 正二 中学生に対する抑うつ予防プログラムの2年間の長期的維持効果——標準群との比較—— (日本認知・行動療法学会第41回大会, ポスター発表, 10月2日)

上田 有果里・石川 信一 会話場面における自己評価と認知的事後処理の検討——社交不安高群・低群の比較—— (日本認知・行動療法学会第41回大会, ポスター発表, 10月2日)

研究会活動

早樫 一男・古川 秀明・興津 真理子 現任者のための家族援助研修会 (京都家族造形研究会, 5月15日, 6月12日, 7月10日, 8月14日, 9月11日, 10月9日, 11月13日, 12月11日)

石川 信一・佐藤 寛・高橋 史 第13回児童青年認知行動療法研究会 (関西大学千里山キャンパス, 5月10日)

石川 信一・佐藤 寛・高橋 史 第14回児童青年認知行動療法研究会・同志社大学実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター (WEST)・同志社心理学会後援 共催ワークショップ (同志社大学今出川校地継志館2階会議室, 10月10日)

石川 信一・佐藤 寛・高橋 史 第15回児童青年認知行動療法研究会・同志社大学実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター (WEST)・同志社心理学会後援 共催ワークショップ (同志社大学今出川校地継志館2階会議室, 2月11日)

岸田 広平 子どもの回避行動に焦点化した不安, 抑うつ, および怒りの診断横断的メカニズムの検討 (第2回関西・中部地区院生合同研究会, 関西大学セミナーハウス六甲山荘, 口頭発表, 3月)

酒井 美枝 Acceptance and Commitment Therapy の日本での展開 (ACT Japan サマーカンファレンス, 目白大学, シンポジ

ウム, 8月29日)

酒井 美枝 面接室と日常生活をつなげる工夫
(ACT Japan 2015年度・年次ミーティ
ング, 目白大学, シンポジスト, 3月20日)

佐藤 豪 同志社心理臨床家懇話会開催(5月9日,
7月18日, 10月17日, 12月5日, 3月5日)

高田 みぎわ・肥田 乃梨子 心の不調とスト
レス対処法(ストレスマネジメント教育研究
会2015年例会, キャンパスプラザ京都, 話
題提供, 9月13日)

13. 社会貢献

講演・公開講座

藤岡 勲 “ならえび” 臨床心理学のためのプ
ロセス研究の基礎(同志社大学実証に基
づく心理トリートメント研究センター&同志
社大学心理臨床センター主催 公開講座
2015, 講師, 5月17日)

藤岡 勲 臨床心理学——臨床心理学の特徴
——(川西市生涯学習短期大学, 講師, 7
月18日)

藤岡 勲 臨床心理学——心理援助職の役割
——(川西市生涯学習短期大学, 講師, 7
月25日)

藤岡 勲 話の聴き方のポイント(同志社大学
心理学会同窓部会ホームカミングデー, 講
演会, 同志社大学, 講師, 11月8日)

藤岡 勲・武藤 崇 “知ってるつもり!?” のプ
ロセス研究——L. S. Greenberg の課題
分析をまなぶ——(同志社大学実証に基
づく心理トリートメント研究センター&同志
社大学心理臨床センター主催 公開講座,
同志社大学, 講師, 11月28日)

早樫 一男 ジェノグラムから家族関係を考え
る(平成27年度大阪府福祉専門職研修(対
人援助基礎研修), 大阪府庁新別館, 講師,
5月14日)

早樫 一男 児童虐待防止専門研修会 講師
(福井県坂井健康福祉センター主催 児童
虐待防止専門研修会, 福井県産業情報セン

ター, 講師, 8月19日)

早樫 一男 家族理解とジェノグラム(大阪市
家庭児童相談員研修会, 大阪府役所会議室,
講師, 9月1日)

早樫 一男・興津 真理子 SOS子どもの村
里親・FH 専門研修 家族造形法を用いた
ケア・スタディ(1月23日)

石川 信一 子どもの不安とうつに対する認知
行動療法——入門編——(大阪府臨床心理
士会第23回総会・研修会 分科会 C, 講師,
7月5日)

石川 信一 平成27年度療育事業「セカンド
ステップ」に関する助言(第一回)(平成27
年度宇治児童相談所療育事業, 指導助言,
7月27日)

石川 信一 平成27年度療育事業「セカンド
ステップ」に関する助言(第二回)(平成27
年度宇治児童相談所療育事業, 指導助言,
9月28日)

石川 信一 子どもの不安とメンタルヘルス(城
陽市立東城陽中学校校内研修会, 講師, 8
月19日)

石川 信一 WISC 研修会 講師(京都市立西
総合支援学校研修会, 講師, 8月26日)

石川 信一 子どもの心理療法の役割と責任
——臨床児童心理学入門編——(NHK 大
阪制作部(福祉班)研修会, 講師, 12月25
日)

石川 信一 子どもとの向き合い方——子ども
の心の成長を支え育むために——(東城陽
中学校PTA 講演会, 講師, 1月9日)

石川 信一 子どもと家族に対する認知行動療
法(北海道医療大学 心理科学部心理臨床・
発達支援センター主催 公開講座, 講師,
3月13日)

石川 信一 児童思春期に対する認知行動療法
(京都府精神保健福祉総合センター 認知
行動療法セミナー, 講師, 3月16日)

武藤 崇 ACT から考える「第4世代」の
CBT とは何か(独立行政法人 国立精神・
神経医療研究センター, 講師, 4月24日)

武藤 崇 “ならえび”臨床心理学のための単一事例研究法の基礎(同志社大学実証に基づく心理トリートメント研究センター&同志社大学心理臨床センター主催 公開講座 2015, 講師, 5月17日)

武藤 崇 アクセプトランス&コミットメント・セラピーとは何か?(大阪家庭裁判所家裁調査官研修第3回, 講師, 8月31日)

武藤 崇 関係フレーム理論(RFT)への招待——明日から使える臨床行動分析のアイデア——(ニコラス・トールネケ氏(Niklas Törneke, MD)によるワークショップ)(日本行動分析学会自主公開講座, 企画者, 9月26日)

興津 真理子 葬儀従事者コース上級(京都グリーフケア協会, 講師, 7月3日, 10月23日)

興津 真理子 介護コース上級(京都グリーフケア協会, 講師, 11月26日)

杉若 弘子 リサーチ——データを集める・読み解く——(一般社団法人日本産業カウンセラー協会関西支部 シニアカウンセラー研修, 講師, 7月26日)

その他

早樫 一男 奈良市児童虐待重症事例検証会議委員

菊田 和代 子どもの日記念無料相談——守られていますか?子どもの権利——(大阪弁護士会主催・大阪府臨床心理士会後援, 相談員, 大阪弁護士会館, 5月9日)

菊田 和代 MN社面談調査(株式会社応用社会心理学研究所, 調査員, 5月18日, 19日)

14. 2015年度構成員

センター長

中谷内一也(心理学部 教授)

副センター長

武藤 崇(心理学部 教授)

指導相談員

佐藤 豪(心理学部 教授)

杉若 弘子(心理学部 教授)

興津真理子(心理学部 教授)

石川 信一(心理学部 准教授)

藤岡 勲(心理学部 准教授)

早樫 一男(心理学部 客員教授)

相談員

菊田 和代(心理臨床センター)

酒井 美枝(心理臨床センター)

特任指導員

大屋 藍子

(実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター 研究員)

相談研修員

坂野 朝子(心理学研究科博士課程後期課程)

茂本 由紀(心理学研究科博士課程後期課程)

上西 祐輝(心理学研究科博士課程後期課程)

肥田乃梨子(心理学研究科博士課程前期課程)

橋本 光平(心理学研究科博士課程前期課程)

伊藤 雅隆(心理学研究科博士課程前期課程)

中西 陽(心理学研究科博士課程前期課程)

上田有果里(心理学研究科博士課程前期課程)

大仲 陽子(心理学研究科博士課程前期課程)

万福 尚紀(心理学研究科博士課程前期課程)

岸田 広平(心理学研究科博士課程前期課程)

金山 裕望(心理学研究科博士課程前期課程)

堀江 幸代

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

井上 和

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

梅澤友香里

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)